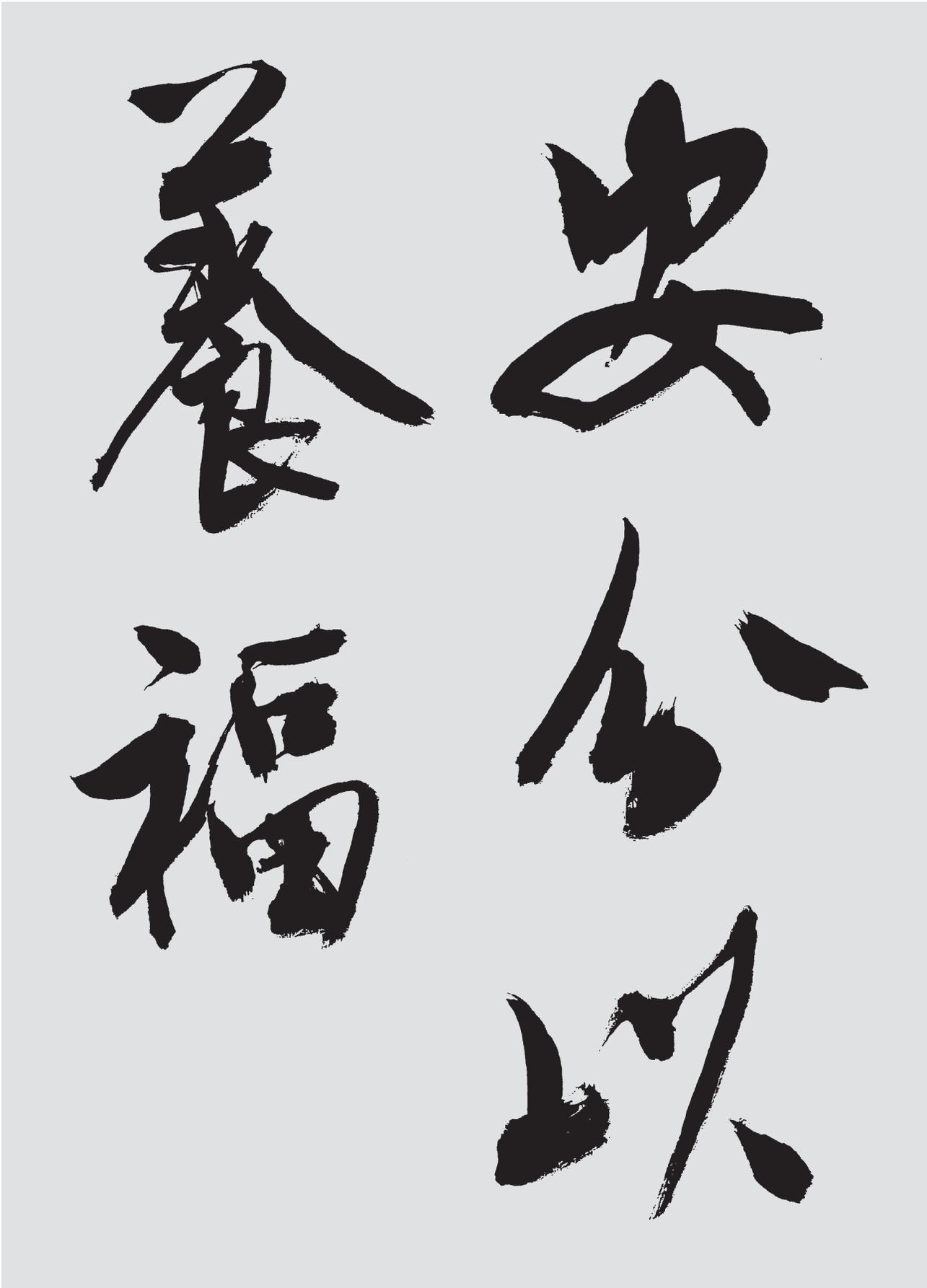


参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



分を安じ以て福を養う

高木聖雨先生

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



分を安じ以て福を養う

高木聖雨先生

条幅かな

条幅規定

C部 (二段以下)

A部 (準五段以上)

B部 (四段~準三段)

集字聖教序 (東晋・王羲之)

蓋接翔雲而共飛 莊野春林與天花而合彩

浮 乘 清 郷 先生

蓋接翔雲而共飛 莊野春
林與天花而合彩

道因法師碑 (唐・歐陽通)

奉王言來遊帝宅慧義資
演真宗佇譯紫庭 (17字)

奉王言來遊帝宅慧義資
演真宗佇譯紫庭

冬こもりおもひかけぬを木の間に花と見るまで雪ぞふりける (紀貫之)
利於可介題木の間より花と見るまで雪ぞふりける (紀貫之)
留万曾里介流

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左側下部に添え書きして下さい。

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

(2月10日締切)

半紙規定 (二)

※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書 〔二級以下〕楷書



畢・臻・雖は、二儀の功に藉ると雖も、

九成宮醴泉銘（唐・欧陽詢）

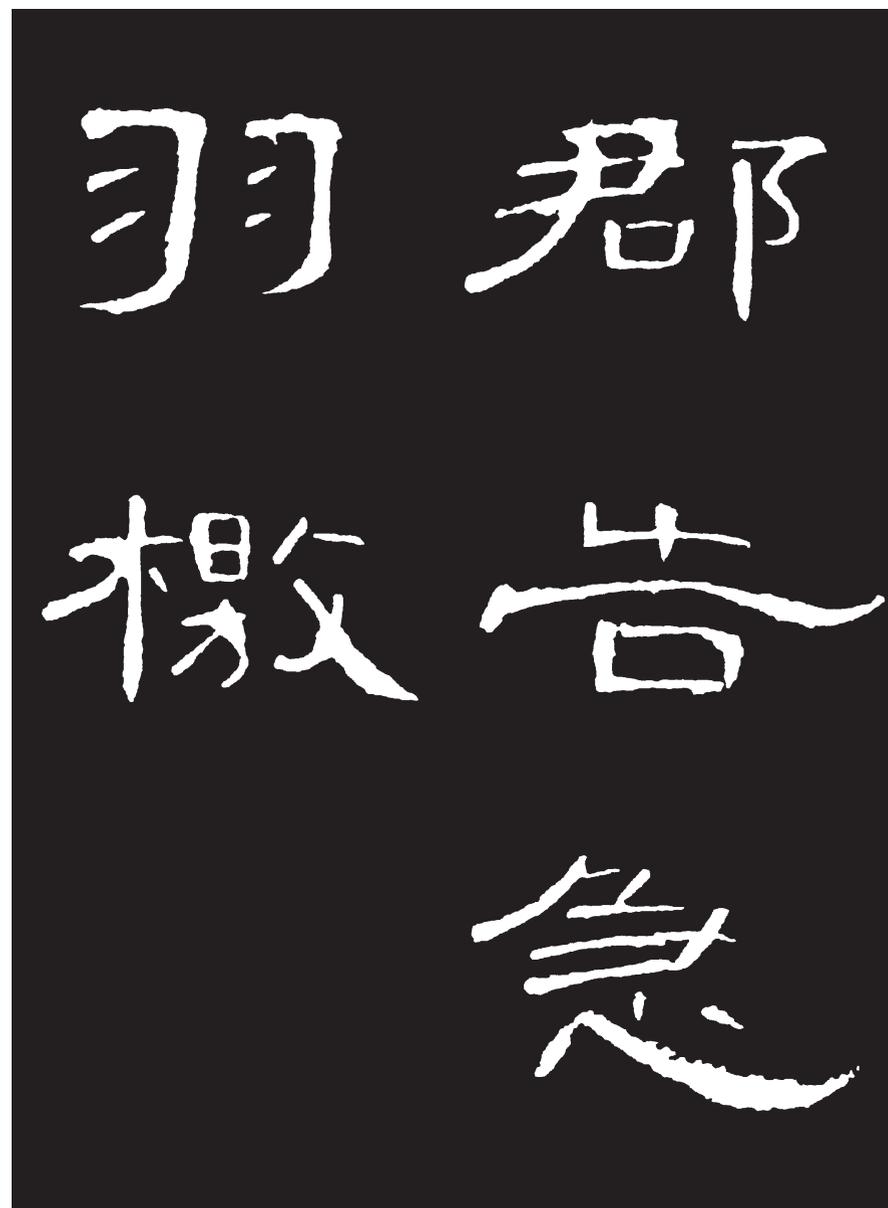
畢臻雖藉二

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

三郡急を告げ、羽檄

半紙規定 (一)

曹全碑（漢・作者不詳）



郡告急羽檄

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕
（2月10日締切）

輝かしい新年を迎え

皆様のご清福をお祈り申し上げます

有限会社 北日本書芸院

大道直如髮春日佳氣多五
陵貴公子雙鳴玉珂

翠濤書

主幹 菅野翠濤

大道直如髮

春日佳氣多

五陵貴公子

雙雙鳴玉珂

条幅参考手本

朝平霞山先生
春來日漸長
醉客喜年光
稍覺池亭好
偏聞酒甕香

美人卷珠簾
深坐顰蛾眉
但見淚痕濕
不知心恨誰

隔浦幽花還自香

塚田悠碩先生
臨溪高柳為綠誰

朝平霞山先生

春來日漸長

醉客喜年光

稍覺池亭好

偏聞酒甕香

大井岳陵先生

美人卷珠簾

深坐顰蛾眉

但見淚痕濕

不知心恨誰

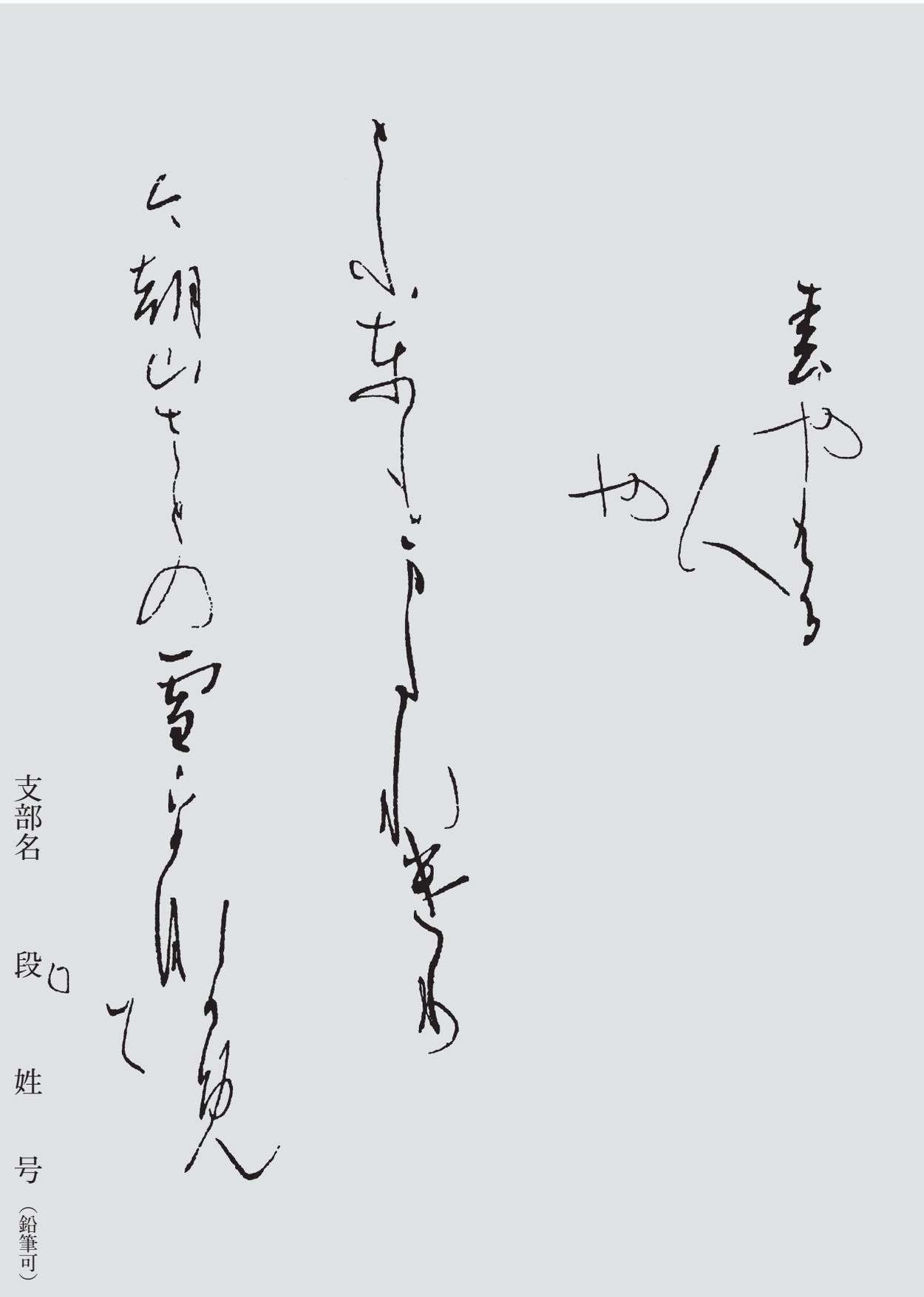
塚田悠碩先生

臨溪高柳為綠誰

隔浦幽花還自香

半紙かな（初段以上）

はる
春やくる人^{ひと}やとふともまたれけり^東けさ山里^{やまのさと}の雪^{ゆき}を眺^みめて^{乎那可免}（赤染衛門）



支部名

段^ロ

姓

号（鉛筆可）

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由

浮
乗
清
郷
先
生

（2月10日締切）

半紙かな（1級～8級）

茶の花にあたたかき日のしまひかな
ちの はな に あ た た か き ひ の し ま ひ か な
二 多、可幾 万比可那
（高浜虚子）

支部名 級 姓 号（鉛筆可）

口

あたたかき日の
しまひかな

茶の花

若月久美子先生

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由

（2月10日締切）

実用文（準三段以上）

唐代の文物が奈良の正倉院にはたくさんあり、それが中国でも殆ど今日みることができないものばかりであるという事は日本の誇りです。
 書の実相より
 支那
 史
 号

〈書風任意〉 唐代の文物が奈良の正倉院にはたくさんあり、それが中国でも殆ど今日みることができないものばかりであるという事は日本の誇りです。

大井 岳 陵 先生

(2月10日締切)

実用文（二段以下）

ひとたび経て再びは来ない野
中の道 踏切り越えて 菜の畑
麦の畑 丘の上の小学校で 鐘
が鳴る 鳩が飛びたつ
又部名 殺級 姓号

鈴木 翡翠 先生

〈書風任意〉

ひとたび経て再びは来ない野中の道 踏切り越えて
菜の畑 麦の畑 丘の上の小学校で 鐘が鳴る 鳩が飛びたつ

三好達治詩『旅人』より

（2月10日締切）

細 字

※一級〜八級は草書まで。 初段以上は隸書まで。

名前は必ず楷書 17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

花^か螢^{けい}宵^{しょう}馨^{けい}
 ほたるが飛ぶ宵。
 花の香り。

支 部

段 級

姓

号

墓 参 供 養 螢 宵 花 馨
 墓 参 供 養 螢 宵 花 馨
 墓 参 供 養 螢 宵 花 馨
 墓 参 供 養 螢 宵 花 馨

(2月10日締切)

硬筆（初段以上）

明けましておめでとうございませう。

お元気で越年の事と存じます。

今冬の西月の寒さは久し振りに

で、予報どおり雪降りでしたね。

終日炬燵の中で過ごしていただきます。

支那名 氏 姓 号

青柳江雲先生

……ございませう。……今年の正月の寒さは……終日炬燵（こたつ）の中で……。

（2月10日締切）

硬筆（4級以下）

支部名

級

姓

号

新年に訪れた年神様は、
どんど焼き
の煙に乗って天上に帰っていく。

本院定型用紙・たて半分に書く

齋藤 翡流 先生

硬筆（1級～3級）

支部名

級

姓

号

新年に訪れた年神様は、
どんど焼き
の煙に乗って天上に帰っていく。

齋藤 翡流 先生

（2月10日締切）

中2用

中3用

支
部
名

希 明

段
級

望 日

名

前

の

渡
邊
南
嶂
先
生

支
部
名

り 冬

段
級

鳥 空

名

前

渡

大
越
三
宗
先
生

(2月10日締切)

小6用

中1用

支部名

の大

段級

名前

朝雪

渡邊南嶂先生

支部名

動社

段級

名前

向会の

渡邊南嶂先生

(2月10日締切)

小4用

支
部
名

段
級

名
前

大越三宗先生

小5用

支
部
名

段
級

名
前

大越三宗先生

(2月10日締切)

小2用



鈴木 翡翠 先生

小3用



鈴木 翡翠 先生

(2月10日締切)

中 1

雪は音を吸収するから
降っている間は静かだ。

中1~中3

中 2

節分の日を境に、少し
ずつ暖かくなります。

青柳江雲先生

中 3

青春時代は夢と希望に
満ちあふれています。

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

るがえ

鈴木 翡翠 先生

(2月10日締切)

小1・幼年用

ともだちと、ゆきだる
まをつくりました。

小1～小3

小2用

ゆきが花びらのように
たくさんふっつている。

鈴木 蕙 翠 先生

小3用

二月はじめに、父とス
キーに行つてきます。

小4～小6

小4用

自分で決めたことは、
さい後までつづけよう。

小5用

家族そろって、節分の
豆まきをしました。

田 辺 翠 鶴 先生

小6用

人間の幸福は、日々の
努力から生まれて来る。

(2月10日締切)

小学部小筆課題

中学部かな課題

支部名

段級

名

前

金色に光る
富士山

読み||冬ふゆごもり 心の奥おくのよしの山やま
季語||冬ごもり

じつと冬ごもりしていると、吉野山に隠棲した西行のことがしきりに思われる、の意。
こゝには『山家集』や『撰集抄』などが重ねられているであろう。

主幹 菅野翠濤

支部名

段級

名

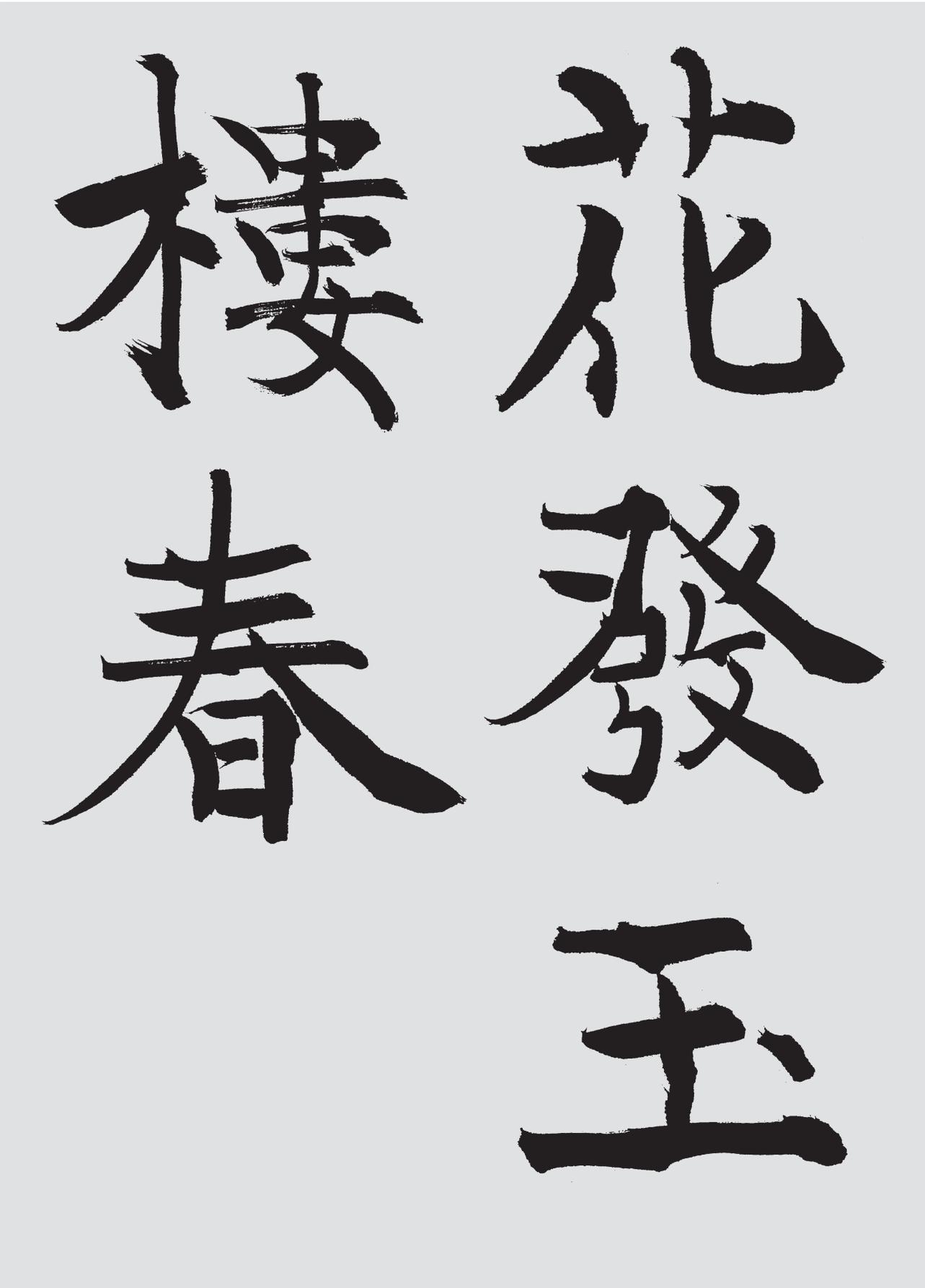
前

冬ごもり
心のおくのよしの山

(2月10日締切)

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



花は發く玉樓の春

成瀬映山先生